

# 官民相互連携による アントレプレナーシップ教育の推進

～地域経済をつないでいく人材づくり～

ジュニアエコノミーカレッジは、子供たちが株式会社を設立して実際に商売を体験するというプログラムです。私たち商工会議所青年部は、7年前からこの事業を続けてきました。回を重ねるごとに規模を拡大し、これまでに参加した児童数は述べ800人を超えています。似たような活動はほかにもあるようですが、これだけ大きな規模で、ここまで長く続いているケースは全国的にも類を見ないそうです。今では民間主導型起業教育の成功事例として、県内外に紹介されるまでになりました。

起業教育とは「自ら課題を設定し、考え、解決する力」を養う教育をいいます。私たちは商売体験を通じて、子供たちにこの「生きるための力」を身につけてほしいと考えています。そして商売の楽しさと、お世話になった多くの人々とのつながりを感じて、ずっとこの会津若松で暮らしていきたいと思ってもらいたい。郷土を愛する気持ちを伝えたいと思うのです。

このような活動は民間だからこそできるのかもしれませんが、しかし一方で、民間の力だけではできないこともあります。

未来を担う子供たちを育てるには、民間と行政が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携する必要があると考えます。

私たちはここに、「官民相互連携によるアントレプレナーシップ教育の推進」についての提言をまとめました。

会津若松がひとつの大きな家族のように、みんなで地元の子供たちを育てていける地域になること望みます。

会津若松商工会議所青年部  
人づくり委員会委員長 吉川 哲也